



平成 28 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 富士古河 E & C 株式会社
代表者名 代表取締役社長 靱井 丈一郎
(コード：1775 東証第二部)
問合せ先 取締役経営企画本部長 小田 茂夫
(TEL. 044-548-4500)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期の業績予想と実績値との差異
および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 4 月 26 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、同じく平成 28 年 4 月 26 日に公表しました通期業績予想を修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 業績予想と実績値との差異
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 4 月 26 日)	百万円 32,500	百万円 450	百万円 440	百万円 240	円 銭 5.34
実績値 (B)	34,231	1,374	1,337	902	20.07
増減額 (B - A)	1,731	924	897	662	—
増減率 (%)	5.3	205.4	203.9	276.1	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	29,395	478	490	253	5.64

(2) 個別業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 4 月 26 日)	百万円 28,500	百万円 400	百万円 440	百万円 300	円 銭 6.67
実績値 (B)	29,703	1,149	1,165	810	18.02
増減額 (B - A)	1,203	749	725	510	—
増減率 (%)	4.2	187.4	164.9	170.1	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	24,824	282	311	177	3.94

2. 平成 29 年 3 月期 通期業績予想の修正

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 4 月 26 日)	百万円 77,500	百万円 3,500	百万円 3,500	百万円 2,200	円 銭 48.91
今回修正予想 (B)	77,500	3,700	3,700	2,350	52.25
増減額 (B - A)	0	200	200	150	—
増減率 (%)	0.0	5.7	5.7	6.8	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	77,404	3,692	3,718	2,092	46.53

(2) 個別業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 4 月 26 日)	百万円 66,500	百万円 2,900	百万円 3,000	百万円 2,000	円 銭 44.47
今回修正予想 (B)	66,500	3,200	3,300	2,200	48.92
増減額 (B - A)	0	300	300	200	—
増減率 (%)	0.0	10.3	10.0	10.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	68,302	3,141	3,234	1,858	41.32

3. 差異および修正の理由

(1) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期業績予想と実績値の差異

当第 2 四半期の個別業績につきましては、売上高はほぼ予定通りに推移しました。利益面では、売上高の増加に加え、コストダウンの一層の推進に努めたことから、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益はそれぞれ前回発表値を上回る結果となりました。

当第 2 四半期の連結業績につきましては、個別業績が好調に推移したことから、前回発表値を上回る結果となりました。

(2) 平成 29 年 3 月期通期業績予想の修正

通期業績予想につきましても、当第 2 四半期累計期間の業績を踏まえ、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表値を上回る見込みであるため、連結・個別ともに業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上